

おかやま旧日銀ホール(旧日本銀行岡山支店本館)



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	おかやまきゅうにちぎんほーる(きゅうにほんぎんこうおかやましてんほんかん)
所在地	岡山市北区内山下
指定年月日	平成17年12月26日
解説	大正11年(1922)に竣工した日本銀行岡山支店本館。外装に花崗岩を用いた煉瓦造及び石造の重厚な建造物である。設計者は、日本銀行技師長、日本建築士会初代会長を務めた長野宇平治。小屋組は、鉄骨トラス構造、正面に4本のエンタシス柱を並べ、柱頭飾りは華麗なコリント式を採用し、三角ペディメントをあしらった古典ギリシア様式の格調高いデザインが特徴となっている。内部の壁・天井等は漆喰で仕上げられ、特に柱上部・壁飾りのデザインは美しい。平成17年には改修され、「ルネスホール」の愛称で、多目的施設として開館し、音楽をはじめとした芸術文化の創造拠点として、公開・活用されている。
アクセス方法	市内電車「県庁通り」電停から徒歩すぐ
公開状況	ルネスホールとして公開・活用されています。
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	おかやま旧日銀ホール(旧日本銀行岡山支店本館)
よみかた	おかやまきゅうにちぎんほーる(きゅうにほんぎんこうおかやましてんほんかん)
しょざいち (所在地)	岡山市北区内山下
していつひ (指定した日)	平成17年12月26日
せつめい	大正(たいしょう)11年(1922年)に、銀行(ぎんこう)として建(た)てられた建物(たてもの)です。現在(げんざい)は建物(たてもの)の中を修理(しゅうり)して、「ルネスホール」と呼(よ)ばれ、コンサートや結婚式(けっこんしき)などいろいろな使(つか)い方(かた)ができるホールとして利用(りよう)されています。